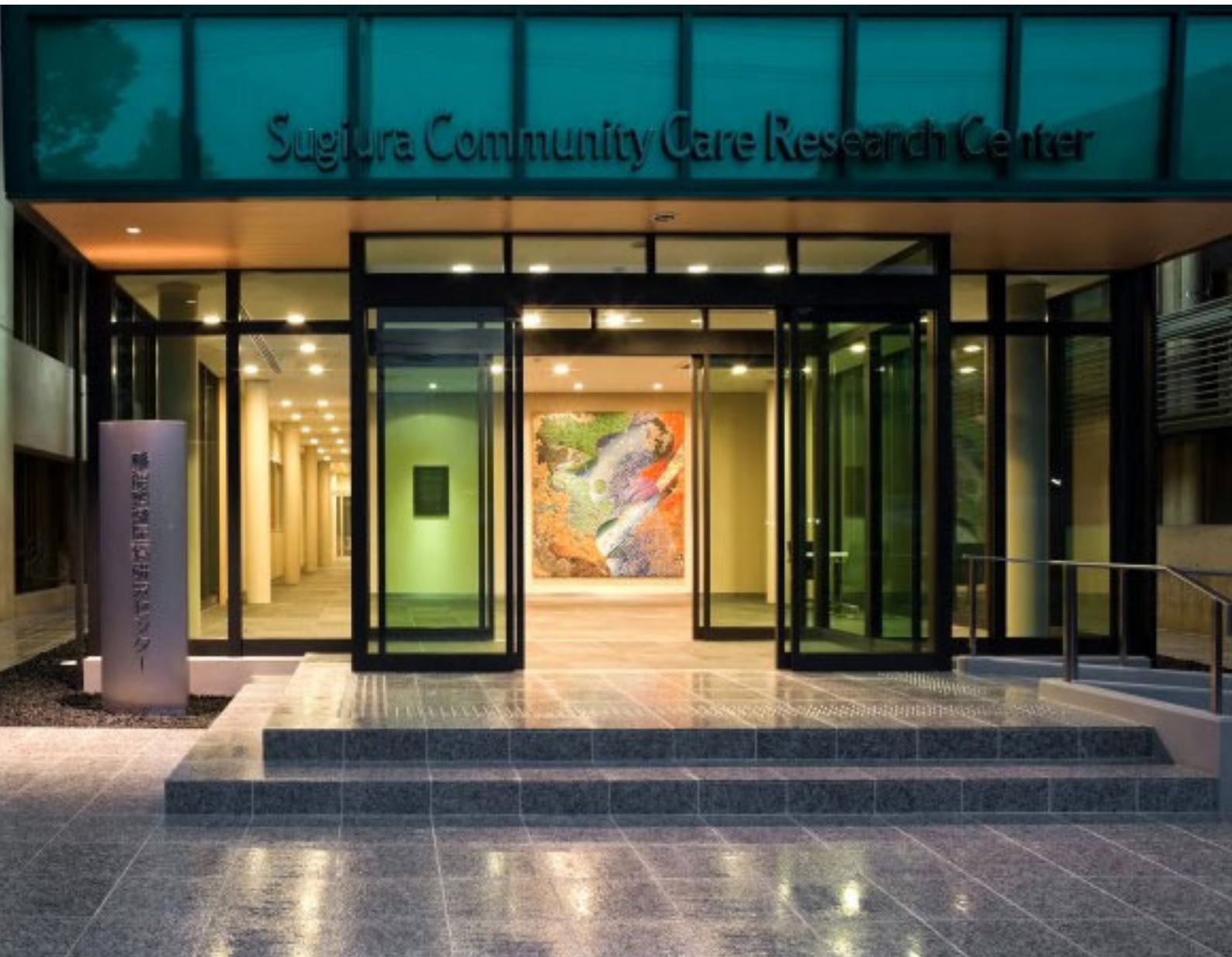


杉浦地域医療研究センター 活動報告 2024 年度



京都大学大学院医学研究科

人間健康科学系専攻

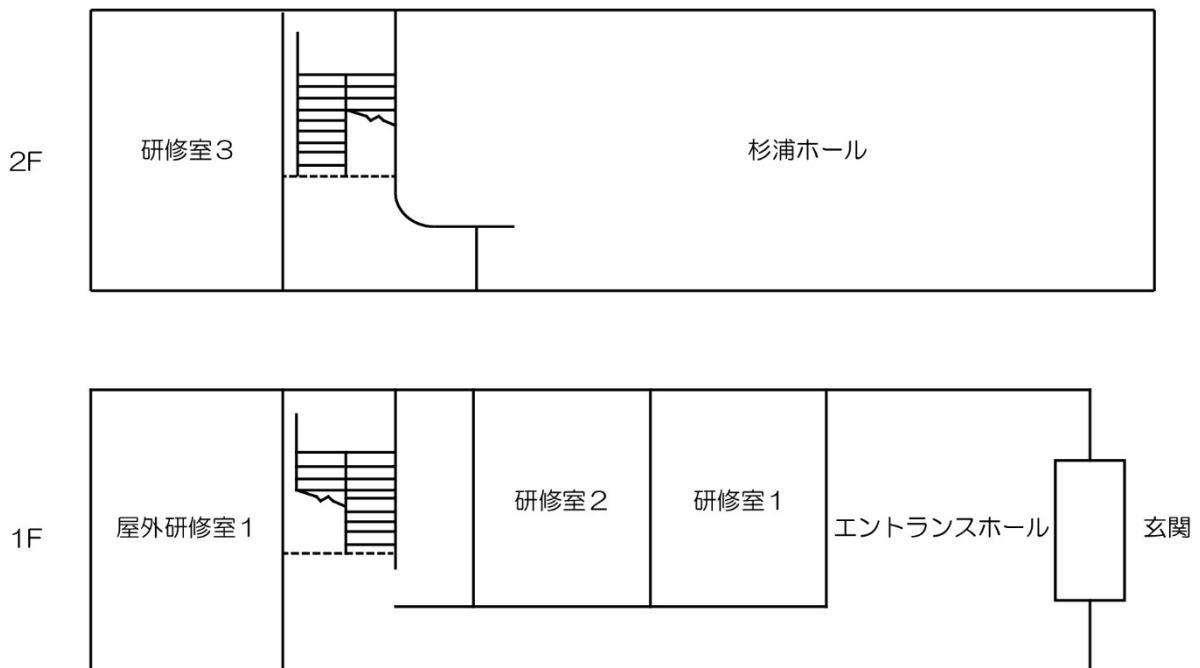
杉浦地域医療研究センター運営委員会

施設概要

- 【名称】 杉浦地域医療研究センター
【開設日】 2009年6月23日
【場所】 京都大学大学院
医学研究科人間健康科学系専攻
〒606-8507 京都市左京区
聖護院川原町53
【建物概要】 階数・構造 2階建鉄骨造
延床面積 約500平方メートル



【設立経緯】健康で文化的な地域社会作りを目指すという人間健康科学系専攻の理念と、薬剤師として地域医療の担い手となり、地域の人々に貢献したいという杉浦広一氏（スギホールディングス株式会社代表取締役会長）、杉浦昭子氏（同代表取締役副社長）両氏の理念が合致し、地域医療に資する教育・研究の推進・発展のため「杉浦地域医療研究センター」が建設され、両氏により寄贈された。



活動実績の概要

本年度（2024年度）、杉浦地域医療研究センター内の杉浦ホールにおいては以下に示すおよそ200件の地域医療に関わる講演会、研修会、教育活動などが行われた。研修室1は「大規模健康医療データに基づく医療・保健のラーニング・ヘルスシステム」プロジェクトに、研修室2は京都大学大学院医学研究科履修証明プログラム「発達症への介入による国民的健康課題の解決」プロジェクト（ASD project）の研究室として使用された。屋外研修室1および研修室3については、おのおの56件と111件の会議や小グループ研修会に利用された。いずれも当専攻の教育・研究活動になくてはならない施設となっている。

2024年度杉浦ホール利用記録

人数は予約表に記載されていたもので実際とは異なる可能性があります

月	日	会議名等	人数
4月	4/1	研修会	15
	4/7	履修証明プログラム 講義	15
	4/9	授業（全共英語）	
	4/10	授業（全共英語）	
	4/11	奥野研究室ガイダンス	
	4/15	清掃	
	4/16	授業（全共英語）	
	4/17	授業（全共英語）	
	4/19	履修証明 準備	1
	4/21	履修証明プログラム 講義	15
	4/23	授業（全共英語）	
	4/24	授業（全共英語）	
	4/25	奥野研究室セミナー(論文)	
	4/27	産科勉強会	60
4/30	授業（全共英語）		
5月	5/1	授業（全共英語）	
	5/7	授業（全共英語）	
	5/8	授業（全共英語）	
	5/10	事前準備とリハーサル	
	5/11	京大病院産婦人科入局説明会	80
	5/14	授業（全共英語）	
	5/15	授業（全共英語）	

	5/16	履修証明プログラム共催研修会 下見	5
	5/17	履修証明プログラム 共催研究会 準備	2
	5/18	履修証明プログラム 共催研究会	100
	5/21	授業 (全共英語)	
	5/22	授業 (全共英語)	
	5/24	打ち合わせ (人事)	
	5/28	授業 (全共英語)	
	5/29	授業 (全共英語)	
	5/31	天王寺高校生来学	30
6月	6/1	ソーシャルコミュニケーションデザイナー養成講座	30
	6/2	履修証明プログラム 講義	15
	6/4	授業 (全共英語)	
	6/5	授業 (全共英語)	
	6/11	授業 (全共英語)	
	6/12	授業 (全共英語)	
	6/16	履修証明プログラム 講義	15
	6/19	授業 (全共英語)	
	6/22	ソーシャルコミュニケーションデザイナー養成講座	30
	6/23	京都府理学療法士会総会	50
	6/25	授業 (全共英語)	
	6/26	授業 (全共英語)	
	6/27	奥野研究室セミナー(論文)	
6/28	学位審査リハーサル		
6/29	ソーシャルコミュニケーションデザイナー養成講座	30	
7月	7/1	学位審査	15
	7/2	授業 (全共英語)	
	7/3	授業 (全共英語)	
	7/6	ソーシャルコミュニケーションデザイナー養成講座	30
	7/7	履修証明プログラム 講義	15
	7/8	ウッドデッキ清掃 (若干、音がします)	
	7/8	授業 (血液学実習)	
	7/9	授業 (全共英語)	
	7/10	授業 (全共英語)	
	7/13	ワークショップ	30
	7/16	授業 (全共英語)	
7/20	ソーシャルコミュニケーションデザイナー養成講座	30	

	7/21	履修証明プログラム 講義	15
	7/23	授業 (全共英語)	
	7/24	授業 (全共英語)	
	7/25	奥野研究室セミナー(論文)	
	7/27	ソーシャルコミュニケーションデザイナー養成講座	30
	7/28	勉強会 (履修証明プログラム 受講者・修了者)	20
	7/29	奥野研・講義	30
	7/30	授業 (全共英語)	
	7/31	授業 (全共英語)	
8月	8/3	ソーシャルコミュニケーションデザイナー養成講座	30
	8/4	履修証明プログラム 講義	15
	8/7	研究意見交換会	
	8/8	人間健康オープンキャンパス	
	8/9	会議	
	8/15	人間健康教務掛	
	8/16	人間健康教務掛	
	8/17	人間健康教務掛	
	8/18	履修証明プログラム 講義	15
	8/19	人間健康教務掛	
	8/21	人間健康教務掛	
	8/22	奥野研究室セミナー(論文)	
	8/23	人間健康教務掛	
	8/24	人間健康教務掛	
	8/25	ヘルスケアワーカーキャリア学会 ワークショップ	60
8/26	人間健康教務掛		
8/28	四條畷高校 来訪	30	
8/31	履修証明プログラム 研修会	40	
9月	9/1	履修証明プログラム 撮影	15
	9/7	履修証明プログラム 講義	10
	9/10	第38回保健医療行動科学会学術大会下見	
	9/13	ワシントン大学学生交流会	
10月	10/1	授業 (医療情報システム学)	
	10/1	授業 (全共英語)	
	10/2	授業 (全共英語)	
	10/6	履修証明プログラム 講義	15
	10/8	授業 (医療情報システム学)	

	10/8	授業（全共英語）	
	10/9	授業（全共英語）	
	10/10	人間健康科学Ⅳ	
	10/16	授業（全共英語）	
	10/20	履修証明プログラム 講義	15
	10/22	授業（医療情報システム学）	
	10/22	授業（全共英語）	
	10/23	授業（全共英語）	
	10/25	第 38 回日本保健医療行動科学会	80
	10/29	授業（医療情報システム学）	
	10/29	授業（全共英語）	
	10/30	授業（全共英語）	
11 月	11/3	履修証明プログラム 講義	15
	11/5	授業（医療情報システム学）	
	11/5	授業（全共英語）	
	11/5	病院麻酔科 下見	
	11/6	授業（全共英語）	
	11/7	高校生訪問	15
	11/8	会議	15
	11/12	授業（医療情報システム学）	
	11/12	授業（全共英語）	
	11/13	授業（全共英語）	
	11/14	看護倫理学分野セミナー	
	11/14	理工系研究室ゼミ	
	11/15	人間健康教務掛	
	11/18	LINC Health Ideathon/Hackathon	20
	11/19	授業（医療情報システム学）	
	11/19	授業（全共英語）	
	11/20	LINC Health Ideathon/Hackathon	20
	11/26	授業（医療情報システム学）	
	11/26	授業（全共英語）	
	11/27	授業（全共英語）	
11/28	先端理学療法学講座 卒論発表会		
11/30	総合キャリアパスセミナー		
12 月	12/1	履修証明プログラム 講義	15
	12/2	病院麻酔科 下見	

	12/3	授業（医療情報システム学）	
	12/3	授業（全共英語）	
	12/4	授業（全共英語）	
	12/5	清掃 30分程度	
	12/6	学校訪問	30
	12/7	研究ワークショップ	
	12/8	研究ワークショップ	
	12/10	授業（医療情報システム学）	
	12/10	授業（全共英語）	
	12/11	授業（全共英語）	
	12/13	会議	
	12/14	DHIEP 最終発表	20
	12/15	履修証明プログラム 講義	15
	12/16	看護コース卒論発表会 準備	60
	12/17	授業（医療情報システム学）	
	12/17	看護コース卒論発表会	60
	12/18	看護コース卒論発表会	60
	12/20	打ち合わせ	
	12/24	授業（医療情報システム学）	
	12/24	wifi 工事	
	12/24	授業（全共英語）	
	12/25	授業（全共英語）	
	12/26	奥野研究室 M2 発表練習	
1月	1/6	清水博己博士学位審査公聴会	
	1/7	授業（医療情報システム学）	
	1/7	授業（全共英語）	
	1/8	授業（全共英語）	
	1/9	清掃 30分程度	
	1/14	授業（医療情報システム学）	
	1/14	授業（全共英語）	
	1/17	会議	
	1/20	学位審査	20
	1/21	授業（医療情報システム学）	
	1/21	授業（全共英語）	
	1/22	授業（全共英語）	
	1/23	博士課程中間発表会	

	1/24	周産期疫学ゼミ	
	1/26	京都 ACP 研究会地域公開講座	90
	1/28	授業（医療情報システム学）	
	1/28	授業（全共英語）	
	1/29	授業（全共英語）	
	1/29	学位論文公開講演会	10
2月	2/3	修士論文審査会_ケアリング科学コース	
	2/4	修士論文審査会_ケアリング科学コース	
	2/4	授業（医療情報システム学）	
	2/4	授業（全共英語）	
	2/5	授業（全共英語）	
	2/6	清掃 30分程度	
	2/8	侵襲反応制御医学研究会（麻酔科）	
	2/9	履修証明プログラム講義	12
	2/10	学位論文審査	10
	2/14	産婦人科医療 DX 会議準備	50
	2/15	産婦人科医療 DX 会議	50
	2/16	履修証明プログラム 講義	15
	2/20	人間健康教務掛	
	2/21	人間健康教務掛	
	2/22	人間健康教務掛	
	2/23	看護管理者倫理研修	100
2/24	人間健康教務掛		
2/25	人間健康教務掛		
2/26	人間健康教務掛		
3月	3/3	清掃30分程度	
	3/6	清掃 30分程度	
	3/14	研修会準備・研修会	
	3/15	研修会準備・研修会	
	3/17	会議	
	3/21	ハイブリッド確認	
	3/23	R6 年度女子学生プロジェクトシンポジウム	40
	3/24	研究会	
	3/26	音響機器調整（人間健康教務掛）	

2024 年度 杉浦地域医療研究スペース（研修室 1） 活動実績報告書

事業名： 大規模健康医療データに基づく医療・保健のラーニング・ヘルスシステム

研究代表者： 福間真悟

研究分担者： 比良野圭太、奥田忠久、錦織桃子

使用スペース： 研修室 1

1. 事業の趣旨と目的

地域の健康と医療に関する行動の課題を大規模ヘルスデータから把握し、解決するための行動変容介入を実装するラーニング・ヘルスシステムの構築を目指している。

2. 活動実績の概要

2024 年度に、具体的には、杉浦地域医療研究室にて以下の活動を推進した。

① 全国規模保険者との連携

厚生労働省 予防と健康づくりに関する大規模実証事業 効果的な特定健診と特定保健指導に関する実証事業（研究責任者：福間真悟）及び全国協会けんぽ委託研究 保健事業による健康アウトカムを改善するための行動インサイト（研究責任者：福間真悟）において、全国規模保険者とコンソーシアムを形成し、大規模ヘルスデータを分析し、医療・保健の行動課題を明らかにしてきた。

2024 年に研究室から 30 編の関連する英文原著論文を発信した。人間健康科学系専攻の修士課程学生である野坂氏は特定保健指導の腹囲基準による健康サービス利用格差に関する和文論文を厚生指標に発表した。

② 社会実装する行動変容介入の開発

杉浦地域医療研究室をハブとして、共同研究にて多分野・多研究機関との連携を推進した。国立循環器病センターとは、心不全パンデミックに対する行動変容介入の実装を医療過疎地域（北海道富良野市）で行うための、企画会議を定期的に行った。国立循環器病センターが開発した生

活指導資材 Lifelong Health Support10 による保健師教育を実施した。

産学連携として、キャンサースキャン株式会社との共同研究では自治体保健事業支援の開発を行った。キリンホールディングスとの共同研究では健康経営のプログラム開発を行った。

2024 年度 杉浦地域医療研究スペース（研修室2） 活動実績報告書

事業名： 京都大学大学院医学研究科履修証明プログラム「発達症への介入による国民的健康課題の解決」（ASD project）

研究代表者： 義村 さや香

使用スペース： 研修室2

1. 事業の趣旨と目的

近年、不登校・ひきこもり、依存症、うつ、アブセンティズム・プレゼンティズムなどのメンタルヘルスの問題が年齢層を問わず深刻な影響を社会にもたらしている。その大きな背景として自閉スペクトラム症（autism spectrum disorder: ASD）をはじめとする神経発達症（以下、発達症）が注目されており、国民的健康課題の解決には発達症への介入が不可欠である。従来の精神疾患への対処とは異なり、発達症への有効な支援や介入を実施するには医師による診療だけでは不十分であり、看護師・保健師、薬剤師、作業療法士、養護教諭、ケースワーカー、公認心理師など医療関連職をはじめとする多職種が連携し、日常生活に密着した支援を行うことが必要である。

本事業における履修証明プログラムでは、発達症にかかわる専門職の受講生を募り、2年間 120 時間の授業を行って、高度なエキスパートへと育成する。これにより、各地域で要求に応じたネットワークを形成し、発達症の子供から成人を対象に適切な支援・介入をコーディネートできる人材を養成する。さらに本事業では、2023 年度より発達症に関する基礎的な知識を学習する e-learning プログラム（Basic コース・全 24 時間）事業を立ち上げている。Basic コースは、対象者を限定しない web 上のオンデマンド講座とすることにより、職種や立場、地域や時間に制限なく受講することが可能となっている。この利点を活かし、発達症支援に取り組むための共通知識の普及促進を目指している。

2. 活動実績の概要

履修証明プログラムに関しては、従前と同様に新たな年度の受講生（第6期生）を公募した。10名の定員に対して11名の応募があり、職種や専門性を考慮して8名を選抜した。受講生の職種は、医師、公認心理師、精神保健福祉士、スクールカウンセラー、予備校講師、および精神保健福祉士の資格を持つ職業安定所職員、発達症関連書籍の翻訳者であった。当初の計画通り、1年次68時間（第6期生が受講）、2年次52時間（前年度に選抜した第5期生が受講）の計120時間の授業を実施した。2年次プログラム受講生7名が修了論文作成を経て全課程を修了し、自閉スペクトラム症高度専門支援者の称号を授与された。これにより、自閉スペクトラム症高度専門支援者は累計46名となった。現在、京都大学・受講生・修了生が多職種ネットワークを形成して、発達症の多様な課題に応じた連携体制を組んでおり、連携を推進するための援助活動も行なった。

2023年度に修了した第4期生が本プログラムの趣旨にかなった活動を展開できている事を確認するため、8月にフォローアップシンポジウムを開催した。このシンポジウムでは、第4期修了生が修了後も定期的に研修会を行って研鑽を積んでいること、本プログラムで高めた技能をもとに、多職種が連携する支援や、職場や地域での研究および啓発活動等を行っていることが報告された。加えて、所属機関上司の評価により、所属機関への波及効果も認められたことが報告された。これらより、本プログラムの趣旨が着実に実現されていると考えられた。

Basicコースに関しては、2024年度に23名の受講者を得た。この中には、当事者や当事者家族の立場で受講した者もあり、当事者の自己理解の促進にもつながると考えられた。発達症を有する子どもの保護者や支援者を対象としたe-learning形式のサポーターズコースも2025年度に開設予定であり、2024年度はビデオコンテンツ作成に向けた準備も行った。

2023年度に文部科学省により採択された教員講習開設事業費等補助金事業によって、発達症の理解を深めること、教員自身のセルフケアを促進することを目的とした教員向けビデオコンテンツの撮影・編集を杉浦地域医療研究センターにて行なった。作成したコンテンツは2024年度に教員研修プラットフォーム上へ掲載され、約1000名の視聴者を得た。

ASD projectの研究活動の一環として、研修医のメンタルヘルスに関する研究を京都大学医学部附属病院の精神科神経科と共同して行っている。また、同病院の看護部と協働して看護師教育における発達症への取り組みを開始しており、9月には看護師長を対象とした研修を行った。この研修会は毎年行われており、講習会の効果を検証する研究を行っている。これらの研究を行う場と

しても、研修室 2 を利用した。2025 年 1 月には、ASD project 実行委員長である義村さや香の ASD project と産業保健との関連に関する論文が、日本精神神経学会の機関誌である精神神経学雑誌に掲載された。

啓発活動を兼ねた研究活動として、京都児童精神医学研究会との共催にて、5 月に第 21 回京都児童精神医学研究会を杉浦ホールにて行なった。医療関係者や教育関係者を中心として 87 名が参加し、起立性調節障害の背景にある発達症の問題や、自閉スペクトラム症の感覚処理について、闊達な議論が交わされた。参加者からの評価は高く、発達症に関する研究活動や臨床を行う上での重要な示唆が得られる会であったと考えられる。



京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-3

TEL : 075-751-3901

https://www.med.kyoto-u.ac.jp/grad_school/ghs/